

報告書抄録

ふりがな	むろまちいせきだい 13 ちてん
書名	室町遺跡第 13 地点
副書名	(仮称) 室町ビル新築工事に伴う埋蔵文化財調査報告
巻次	
シリーズ名	北九州市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第 620 集
編著者名	中村利至久
編集機関	(公財) 北九州市芸術文化振興財団 埋蔵文化財調査室
所在地	〒 803-0816 北九州市小倉北区金田一丁目 1 番 3 号 TEL 093-582-0941
発行年月日	西暦 2023 年 3 月 31 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
むろまちいせき 室町遺跡 だい ちてん 第 13 地点	ふくおかけんぎたきゆうしゅうし 福岡県北九州市 こくらきたくむろまち 小倉北区室町二丁目 31、32、33	40100		33° 53' 12.44"	130° 52' 36.43"	20210127) 20210217	171.36	(仮称) 室町 ビル新築工事 に伴う埋蔵文 化財発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
室町遺跡 第 13 地点		近世	石組遺構 石敷遺構 土坑 ピット	近世の磁器、陶器、土師器、 瓦質土器、瓦、金属器、 ガラス製品、埴埴、貝類	

要約	<p>調査の結果、17 世紀前半に形成された 2 つの造成層ブロックと 3 面の遺構面が確認された。</p> <p>検出された遺構には、石組遺構、土坑、ピット（上層面・近世）、石敷遺構（中層面・近世）、土坑、ピット（下層面）がある。18 世紀末～19 世紀初頭頃に廃絶した上層面の 2 号石組遺構は、強い火勢を伴う作業に使用された遺構であるが、その性格は不明である。中層面の 1 号石敷遺構は、何らかの構造物の基礎であった可能性がある。下層面では 2 基のピットから遺物が出土したが、これらには磁器が含まれていないことから、下層面の遺構群が中世に遡る可能性も考え得るが、確定的ではない。</p>
----	---